



秋田をこくる建設人

Vol.01

施工管理(建築)

大野 実咲さん(20代)
創和建设(株)【横手市】
キャリア3年



いい仕事をするために
明るい雰囲気を作るのも私の仕事
まずは自分が「元気」でいること！



事務所の壁には工事の工程管理表が貼りだされ、現在の進捗状況や日々の作業内容が一目でわかる。責任者の欄に名前があるのが、入社4年目の大野実咲さんだ。現場に出る大野さんはとにかく明るく、ムードメーカー的な存在。創和建设では初の女性技術者ということもあり、彼女が入ったことで現場には「新しい風」が吹いている。

仕事の「やりがい」は？

更地に建物がどんどんできていくプロセスを目の当たりにした時は、とても感動しましたね。入社1年目で携わった*雄物川庁舎建設工事では、完成した建物を見て「すごい！」と思いました。工事が完了してお客さんに感謝してもらえたり、地元の方が実際に使ってくださいているのを見たりすると、頑張って良かったなと感じますね。地図アプリで自分が関わった建築物が載っているのを見ると、誇らしい気持ちになったりもします。当面の目標は2級建築施工管理技士の資格取得ですが、更に経験を積んで、さまざまな建築物に関わってみたいと思っています。

建設業界に入ったきっかけは？

ものづくりが好きだったので、総合技術科のある高校に進学し、環境工学を学びました。木材加工や建築に興味があったので、自然と建設業を意識するようになりました。一番のきっかけになったのは、高校生の頃に参加した「よこて建設女子会」ですね。実は、担任の先生に「スイーツも出るらしいよ」と聞いたのもあって、参加したんですけど(笑)。ただ、現場見学会で女性が現場で働く姿が印象的で、私もこんな風に働けたらなと思ったのを覚えています。

入社して建設業のイメージが変わった点は？

建設業というと、きつい職場だというイメージがあると思いますが、施工管理の仕事などは、むしろ女性が活躍できる分野だと思います。分からないことがあっても、皆さん優しく教えて下さいますし、明るい方が多くて楽しいので現場の仕事は大好きです。私自身、常に元気であることを心がけています。今後は私が、建設業の魅力を伝えていけたらなと思い、「よこて建設女子会」などのイベントにも積極的に協力しています。私みたいにスイーツ目当てでもいいので、気軽に参加してほしいですね(笑)。きっと建設業に対するイメージが変わると思います！

キャリアアップ

CAREER UP

2019年
入社

高校2年生の夏休みにインターンシップを経験。卒業後に自分が働くイメージがわいた。



2022年(4年目)

2級建築施工管理技士補
取得

2次試験を11月に控え、忙しい業務の傍ら準備中。合格すれば晴れて2級建築施工管理技士となる。

コロナに残っているプロジェクト

*横手市役所雄物川庁舎
建設工事
(2020年/横手市)

入社1年目の現場。写真管理の業務をこなしながら、新築工事の流れを経験した。完成した建物を見たときの「達成感」を初めて感じた、思い入れのある工事。



大野 実咲さんの
もうひとつの
物語



週末は美味しいお酒と家族との時間でリラックス

休日は家でゆっくり過ごすことが多いという大野さん。母娘で買い物に行くこともあれば、お姉さんの子供たちと一緒に遊んだりすることもあるそうで、家族との時間を大切にしている。最近、お酒を嗜むことも覚えたそう。美味しいお酒を飲みながらひとりでお気に入りの映画を見たり、友人と一緒に地元の名店を探したりするのが週末の楽しみ方だ。「こんどの週末は『よこて建設女子会』のメンバーで飲みに行くですよ」と、話してくれた。女性ネットワークの結びつきの強さの秘密は、こんなところにもあるようだ。

